

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 61-286974

(43)Date of publication of application : 17.12.1986

(51)Int.Cl. G06F 15/42
A61B 10/00

(21)Application number : 60-128169

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 14.06.1985

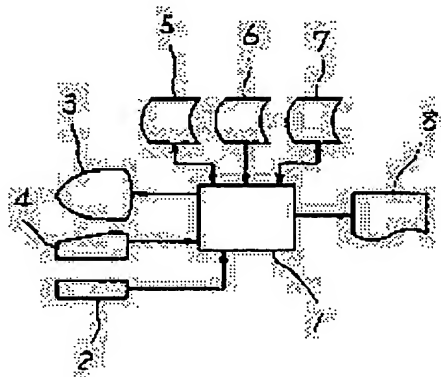
(72)Inventor : KISHI KATSUICHI

(54) INQUIRY CONSULTATION DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To shorten consultation time and prevent an erroneous response by skipping an inquiry content having the response of no change from the first consultation on a reconsultation and displaying the preceding response as well as the inquiry.

CONSTITUTION: A person receiving consultation reads an identifying number set in an identifying number input device 2, previously stores the identifying number and the individual data of the respective persons receiving the consultation, retrieves a registering file 5 for the person receiving the consultation and displays the data corresponding to the inputted identifying number on an inquiry consultation display device 3. In the case of a reconsultaion, from an inquiry consultation result file 7, the inquiry consultation result relating to the preceding health state or the like is taken out, and displayed on the device 3 as a table. The person receiving the consultation, when there is an error or an omission in the displayed contents, inputs a correction request from a response keyboard 4 and processes an inquiry logic similar to the first consultation. When the correction is not required, an inquiry content having an equal response to the first consultation is skipped.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-286974

⑬ Int. Cl.⁴G 06 F 15/42
A 61 B 10/00

識別記号

庁内整理番号

7313-5B
7033-4C

⑭ 公開 昭和61年(1986)12月17日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 問診装置

⑯ 特 願 昭60-128169

⑰ 出 願 昭60(1985)6月14日

⑱ 発 明 者 岸 勝 一 日立市森山町1168番地 株式会社日立製作所エネルギー研究所内

⑲ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

⑳ 代 理 人 弁理士 小川 勝男 外2名

明 細 書

発明の名称 問診装置

特許請求の範囲

1. 現在の健康状態、過去の病歴等の質問内容を記憶している質問ファイルと、前記質問内容を表示する問診表示装置と、前記質問内容に対する回答を入力する回答キーボードとあらかじめ決められた質問のシーケンスを制御する問診制御装置とからなる自動化健診システムの問診装置において、前記質問内容に対する前回受診時の回答を記憶する問診結果ファイルを有し、再診時に初診時と変わらない回答となる質問内容をスキップし、さらに質問と同時に前回回答内容も表示するように構成されていることを特徴とする問診装置。

発明の詳細な説明

〔発明の利用分野〕

本発明は自動化総合健診システム(人間ドック)に係り、特に受診者の過去の病歴や現在の生活状態などを調査するのに好適な問診システムに関する。

〔発明の背景〕

自動化総合健診システムでは医師の問診内容を機械化した問診システムが組込まれている。問診の質問は約200問前後と非常に多いため、回答に時間がかかる場合がある。また、一般に健診の受診周期は約年一回と長いため、同一質問について前回と異なった回答をする場合もある。

なお、この種の技術として関連するもので、医療情報システム資料集成、自動化総合健診システム編(第162頁～第164頁)に記載がある。

〔発明の目的〕

本発明の目的は、受診時間の短縮を図り、さらに誤回答を防止する問診システムを提供することにある。

〔発明の概要〕

本発明では、受診者が再診者の場合、過去の病歴等のように回答が前回と変わらないような質問をスキップして受診時間の短縮を図る。また、誤回答を防止するため、前回受診時の回答内容を質問内容と同時に提示するようにして、前回の回答を

参考にしながら正しい回答ができるようにするものである。

〔発明の実施例〕

以下、本発明の一実施例を第1図により説明する。第1図において、1は問診処理装置、2は受診者の識別番号を入力する識別番号入力装置、3は問診の質問内容を表示する問診表示装置、4は質問に対する回答を入力する回答キーボード、5は識別番号ごとに各受診者の氏名、生年月日等を記憶している受診者登録ファイル、6は問診の質問内容を記憶している質問ファイル、7は各受診者の問診結果を記憶している問診結果ファイル、8は問診結果を帳票として出力する出力装置である。

以下、問診処理装置1の処理手順の実施例を第2図の処理フローで説明する。第2図において、処理ステップF1で受診者が識別番号入力装置2に設定した識別番号を読取り、あらかじめ各受診者の識別番号と受診者の氏名、生年月日、住所等の個人データを記憶している受診者登録ファイル

る問診結果を問診結果ファイル7から取出し、問診表示装置3に一覧表として表示する。処理ステップF7で表示する表示例を第3図に示す。受診者は第3図のように表示された内容で誤ちがいや抜けがある場合は、修正要求を回答キーボード4から入力する。もし、回答キーボード4で“Y”が入力されたとき、処理ステップF8で修正要求ありと判定し、処理ステップF9以下の初診の場合と同様の問診ロジックを処理する。修正が必要ない場合は処理ステップF8からF12はスキップされる。

処理ステップF9では質問ファイル6から問診内容を取り出し、さらに受診者が再診の場合は前回の問診結果が記憶されている問診結果ファイル7から質問に対応した前回回答を取り出し、処理ステップF10で問診表示装置3に質問内容と前回回答を表示する。表示の実施例を第4図に示す。第4図において、2の肺結核の場所に*が表示されているが、これは前回受診時に回答した内容を示す。もし、前回誤って2の肺結核を回答している

5を検索し、処理ステップF2で入力された識別番号に対応する氏名、生年月日等を問診表示装置3に表示する。処理ステップF3で問診表示装置3に表示された内容が受診者自身のデータであるか確認データを回答キーボードから入力する。もし、誤った氏名等が問診表示装置3に表示された場合は、たとえば“N”を入力する。誤った氏名等が表示されたのは識別番号の誤設定の可能性があるための処理ステップF4で識別番号の再入力指示を問診表示装置3に表示する。正しい識別番号が設定されると、処理ステップF5で問診表示装置3に受診回数を入力する指示を表示する。次に処理ステップF6で回答キーボード4に設定された受診回数を取込み初診であるか、再診(2回以上)であるか判定する。

本発明では、再診の場合、過去の病歴、手術歴、家族歴といった初診時の問診結果と変わらないような過去の健康状態に関する質問を省略するようにしている。このため、処理ステップF7で問診結果ファイル7から前回の過去の健康状態等に関する

のであれば、正しい回答番号を回答キーボード4から入力する。

処理ステップF9～F11は過去の病歴、手術歴等の質問が終了するまで繰返えされる。なお、初診の場合は当然のことながら前回結果は記憶されていないので前回回答内容の表示は行なわれない。

処理ステップF13～F16では前述の処理ステップF9～F12と同様の処理手順で過去の病歴等以外の現在の健康状態や食事の状況、酒・タバコの量、薬の使用状況等の質問を処理する。

再診の受診者は第4図の表示例に示したように前回の回答を参考にしながら回答キーボード4から回答番号を入力する。

すべての質問が終了した後、処理ステップF17で今回の問診で回答した結果を問診結果ファイル7に記憶する。この結果は次回受診時に前回回答内容として使用される。

また、今回の問診結果を受診者に渡すためにラインプリンター等の出力装置に印字する。

【発明の効果】

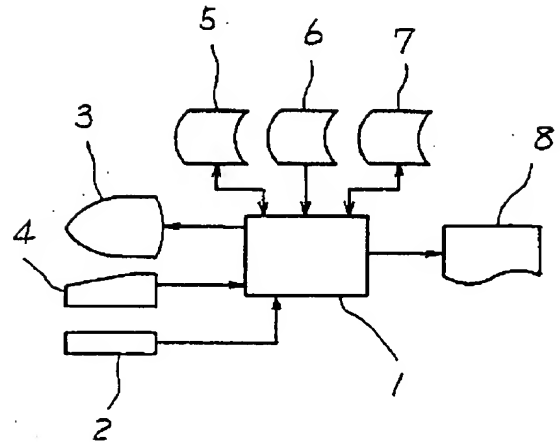
以上述べたように、本発明によれば、再診時に過去の病歴等の回答で前回の回答と変わらない場合は質問内容をスキップし、さらに質問内容を表示するとき前回回答内容も同時に受験者に提示することができるので、問診時間の短縮、誤回答の防止の効果がある。

図面の簡単な説明

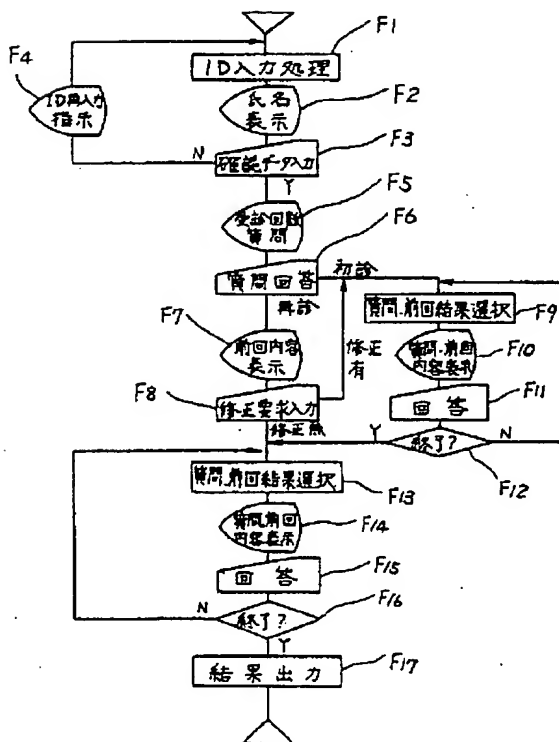
第1図は本発明の一実施例の自動問診システムの構成図、第2図は問診処理装置の処理フロー図、第3図と第4図は問診表示装置の表示図である。
1…問診処理装置、2…識別番号入力装置、3…問診表示装置、4…回答キーボード、5…受験者登録ファイル、6…質問ファイル、7…問診結果ファイル、8…出力装置。

代理人 井理士 小川勝男

第 1 図



第 2 図



第 3 図

識別番号XXXXX 氏名XXXXXXXX
前回受診日 XX年XX月XX日
過去の病歴・手術歴に対する前回回答一覧

病歴	1	肺結核	手術歴	1	無
2	かっけ				
3	xxxx				
4	xxxx				

前回内容 修正するか (Yes or No)? =

第 4 図

識別番号 ×××××

氏名 ×××××××

前回受診日 ××年××月××日

次の感染症にかかりましたか
(いくつ答えても結構です)

- 1. ジフテリア・ポリオ
- * 2. 肺結核
- 3. 背椎カリエス
- 4. 肝炎
- 5. マラリア
- 6. 該当なし

(回答は番号で答えてください)